

節分 ～テイケア～



ご利用者様に節分の日をより楽しんで頂くため、豆まきが行われました。ご利用者様は突然現れた鬼に最初は驚いていましたが、すぐに笑顔に変わり、鬼に向かって元気よく豆を投げ、驚きとともに楽しいひと時を過ごしました。



豆まきが終わると、ご利用者様と鬼は仲良く記念撮影を行いました。鬼をモチーフにしたおやつも振舞われました。
(矢島)

雛飾いづくり

デイサービスセンターうららか

うららかでは雛祭りにちなんで自宅で飾って頂けるお雛様とお内裏様を作りました。デコレーションボールを使用しましたが、小さく、ふわふわしているため付けるのが大変でした。全部のパーツを繋げると、一人一人個性的な顔でとても可愛く完成しました。
(上原)



～ 豆まき ～

かりんの里複合福祉施設
グループホームかりん



グループホームのかりんユニットで豆まきを行いました。「鬼は外！福は内！」と皆さんで掛け声を合わせて赤鬼と青鬼を退治しました。その後は、福の神がやってきて、ご利用者様一人ひとりに優しく声をかけていただき無病息災を祈ってくださいました。
(内山)





羽子板づくり



老健入所フロアで羽子板作りを行いました。職員と協力しながら、各自思い思いに羽子板の制作に取り組みました。作業中には、過去の思い出や子ども時代の楽しいエピソードに花が咲きました。完成した羽子板は、ご利用者様の手によって作り上げた喜びが詰まった作品となりました。

(矢島)



繭玉づくり

ご利用者様は、丁寧に米粉を練り、形作りながら楽しく交流しました。それぞれが手がけた繭玉は、彩り豊かで美しい仕上がりとなりました。ご利用者様にとっては、楽しく手先・指先を動かすリハビリにもなりました。繭玉には、個々の個性と温かな思いが込められ、施設内に嬉しい彩りを添えました。

(矢島)





雛人形を寄贈して いただきました

かりんの里に大変うれしい贈り物がありました。立派な雛人形が施設に寄贈され、ご利用者様はその美しさに足を止め、感嘆の声をあげていました。雛人形の華やかさは、まるで春の訪れを象徴しているかのようでした。贈られた雛人形に感謝の気持ちを込め、ご利用者様は嬉しそうに笑いながら記念に写真を撮りました。

(矢島)



編集後記

新年を迎えたと思ったら、あっという間に3月に突入してしまいました。時間の経過が速い中で、新年に立てた抱負や計画を着実に進めることが求められます。春の訪れとともに、気持ちも新たに目標に向かって努力を惜しまず、今年も充実した日々を過ごしていきたいと思えます。

(矢島)